



学校だより

福生一小ホームページ

<https://fussa-1e.hs.fussa.school/>

令和7年1月8日
1月号
福生市立福生第一小学校
統括校長 高瀬 智子



新しい年のスタート



統括校長 高瀬 智子

令和7年が始まりました。今年は「乙巳（きのとみ）」年です。十干十二支は、同じものは60年に一度訪れます。乙巳は、これまでの努力や準備が実を結びはじめ、勢いを増して大きく変化がある年となると言われています。

さて、これからの社会を担っていく子どもたちが一人一人、自分の力を発揮し、夢や希望を実現できるようにしていくことが、大人の役目だと思います。

そこで、改めて大事にしていきたいことは、「支え」、「励まし」、「導く」です。

- ① 「支える」 子どもたちの思いに寄り添って支える。
- ② 「励ます」 自信をもって、一步踏み出せるように励ます。
- ③ 「導く」 自身のもつ力を伸ばすように導いていく。(必要なことを適切に教える。)

子どもたちに、自身の将来を切り拓く力を身に付けることができるようにするためには、10年後、20年後にどのようになって欲しいのか、そのために、小学校の段階で身に付けておくことが必要なことは何か、という見方を大人がもつことが求められます。

子どもの気付きや自主性を大切にしながらも、よりよく導いていくには、教えるべきことは教え、判断できる力を伸ばしていくことが重要であると考えます。子どもたちが日々過ごしている様子を見て、「判断する」というのが実はとても重要であると感じています。

「よいこととわるいことは何か」ということは、子どもたちは分かっています。でも、実際には、分かっていると言動や行動に結びついていないという場面があります。小学校は、人格形成の基礎を培う段階です。仲間と一緒に過ごし、学習や生活をする中で、物事の善悪、他者とのかかわり方、物事の解決の仕方など、様々なことについて経験を通して学んでいます。

また、学校だけでなく、家庭や地域等での経験も全てが子どもの成長に関わっています。子どもたちが自身の力を高めていけるよう、学校・家庭・地域でともに育てていくということが大切です。御協力をお願いいたします。

今日から3学期が始まります。3学期はまとめの時期であると同時に次の学年への準備の期間でもあります。6年生は小学校6年間の総まとめの時期であり、卒業、そして、中学生への意識をもつ時期です。1年生から5年生も次の学年へ意識を高めていく大切な学期です。子どもたちに、その意識をもって過ごしてほしいと思います。

～道徳授業地区公開講座のお知らせ～

先月にもお知らせしておりますが、今回は、道徳授業地区公開講座（学校公開）があります。今回は、アテネオリンピックで水泳の選手として出場した高橋 友喜子さんをお招きしてお話をいただきます。是非、御出席ください。当日は6年生も講演を聞きます。

日時:令和7年1月18日(土)
11時20分～12時5分(4校時)
演題:「挫折があるから希望がある
～私が水泳から学んだこと～」
講師:アテネオリンピック
水泳200mバタフライ日本代表
高橋 友喜子 氏

